

国立国語研究所学術情報リポジトリ

コメンテーター紹介

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002956

【コメンテーター紹介】

李 徳奉 氏 (Yi Dok Bong) 韓国 同徳女子大学校外国語学部教授 言語学博士

専門：日本語教育，認知意味論

著作：『メタファーの心理学』（共著，ソウル：誠信書房，1990年），『新日本語学の理解』（共著，ソウル：時事日本語社，1998年），『日本語教育の理論と方法』（ソウル：時事日本語社，1998年），『マルチメディア言語教育の理論と実際』（共著，ソウル：博文社，1999年），『ふれあい日本語』（日・韓・英3か国語版，時事日本語社，2002年），『総合的日本語教育を求めて』（共編，国書刊行会，2002年），他多数。

長年にわたり，韓国の学習指導要領及び教科書作成等にかかわり，韓国における言語教育政策の策定・普及に中心的に貢献。「総合的日本語教育」，「ユニバーサル言語教育」を提唱し，旧来の言語教育の枠組みを超え，広い視野から言葉の教育をとらえる姿勢が注目されている。

1999年より2003年まで，韓国日本学会会長として活躍。2000年より，国立国語研究所が実施する「日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究」の海外調査委員。独立行政法人国際交流基金より平成16年度国際交流奨励賞・日本語教育賞を受賞。

西原 鈴子 氏 (Nishihara Suzuko) 東京女子大学現代文化学部教授 Ph.D

専門：応用言語学，日本語教育学

著作：Patterns of assertion and exposition in English and Japanese newspaper editorials. *Japanese Discourse* Vol. 2. 1997，『こどものほんごー外国人の子どものための日本語1・2』（監修，スリーエーネットワーク，2002年）「外国人とのコミュニケーション」『朝倉日本語講座9 言語行動』（朝倉書店，2003年），『日本語教育を必要とする児童生徒の生活環境・日本語習得・第一言語保持／喪失の関係』（科学研究費研究成果報告書，2003年），他多数。

国立国語研究所日本語教育センター第2研究室長，同センター日本語教育指導普及部長として，日本語非母語話者の日本語に関する研究，年少者に対する日本語教育に関する研究，日本語教師の養成・研修等に携わる。東京女子大学への転出後も，幅広い研究活動及び社会活動を行うと同時に，後進の指導にもあたるなど，精力的に活躍。留学生や年少者に対する日本語教育の内容に関する調査研究，日本語教員養成において必要とされる教育内容の策定等，日本語教育の政策・施策にかかわる各種委員会の委員を歴任。2000年より，本研究所監事。2001年より，社団法人日本語教育学会会長。